

「国際禅研究プロジェクト」(科研費)・「東洋学研究所プロジェクト」(井上助成) 共催

国際シンポジウム 「近代化は仏教をどう変えたのか」

日時：2021年10月30日(土)・31日(日)

場所：リモート開催 (Webex を使用)

※参加希望の方は下記の「お問い合わせ」までメール下さい。後ほど招待状を送らせて頂きます。

10月30日(土)

基調講演 侯坤宏 (玄奘大学教授) 13:00~13:50

「逐步走向「近代化」的臺灣佛教—兼及來自日本的影響」

陳繼東 (青山学院大学教授) 14:00~14:50

『令知会雑誌』掲載の赫舎里如山「十宗概説」について」

碧海寿広 (武蔵野大学准教授) 15:00~15:50

「仏教者はいかにして学校をつくるか—高楠順次郎の場合」

坂井田夕起子 (愛知大学国際問題研究所客員研究員) 16:00~16:50

「近代日本仏教と中国人僧侶—太虚の弟子大醒を中心に」

川邊雄大 (日本文化大学講師) 17:00~17:50

「真宗僧と近代—松本白華を例として」



10月31日(日)

呉佩遙 (東北大学大学院) 13:00~13:50

「近代日本における「人格論」の諸相
—境野黄洋と新仏教運動に着目して」

長谷川琢哉 (東洋大学井上円了センター研究助手) 14:00~14:50

「井上円了の仏教改良と哲学館
—近代仏教史におけるその位置づけをめぐって」

水谷香奈 (東洋大学東洋学研究所客員研究員) 15:00~15:50

「村上専精『仏教統一論』に見る中国仏教史観」

伊吹敦 (東洋大学教授) 16:00~16:50

「近代中国における佛教學的知見の流入と佛教認識の變化」

全体にわたる質疑 17:00~17:50

聴講歓迎・入場無料



お問い合わせ：03-3945-7401 (国際禅研究プロジェクト)

kokusaizenkenkyuproject@gmail.com

※ 国際禅研究プロジェクトホームページ <http://www2.toyo.ac.jp/~ibuki/kokuzenken/index.html>